

募集

認可保育園等職員

詳細は保育室へお問い合わせ下さい。

☑有資格者

○ひだまり保育室(☎737・4630)
=子育て支援員(非常勤)

☑保育・幼稚園課☎724・2138

お知らせ

2月1日から受け付けます

「ちょこっと共済」に加入を!

交通災害共済「ちょこっと共済」は、交通事故に遭った時、見舞金を受けられる助け合いの制度です。

2018年度の加入申込を受け付けます。

○会費は選べる2コース制

☑町田市に住民登録のある方

費Aコース=年額1000円、(見舞金4万円~300万円)、Bコース=年額500円(見舞金2万円~150万円)

※死亡事故に遭った会員に、生計を同じくしている遺児がある場合、中学終了年限に達するまで遺児1人に

対し年額12万円の交通遺児年金が支給されます。

※2018年度加入分から支給額が一部変更になっています。

☑申込場所 市民生活安全課(市庁舎3階)、各市民センター、農協、市内の金融機関(ただし、ゆうちょ銀行[郵便局]・三菱UFJ信託銀行・山梨中央銀行・新生銀行を除く)

☑各申込場所で配布の加入申込書に記入し、会費を添えて直接申込場所へ。

☑共済期間 4月1日~2019年3月31日(4月1日以降に申し込みの場合は、申込日の翌日から)

※自治会やサークルごとに連名で申し込みができる「団体加入」制度もあります。詳細はお問い合わせいただくか、東京都市町村民交通災害共済ホームページをご覧ください。

☑市民生活安全課☎724・4003

地域の学習活動にご活用下さい

生涯学習ボランティアバンク

生涯学習ボランティアバンクは、自身の知識や経験、特技などを地域社会に役立てたいと考えている市民の方や団体と、学習活動のサポートを必要としている市民団体との橋渡しを行う制度です。

今後は市内各地域で一日体験講座を実施するなど、講師人材の派遣等を通じて地域の学習活動を支援する予定です。同バンクの利用方法やボランティアの登録情報等の詳細は町田市ホームページをご覧ください。

☑生涯学習センター☎728・0071

2018年度

休日保育の実施園が増えます

4月から、市内2か所目の休日保育実施園(給食有り)として、新たに「たけとんぼ保育園」が追加されます。

休日保育事業は、日曜日や祝休日に保護者の就労等の理由でお子さんの保育が必要である場合に利用できる制度です。詳細は、町田市ホームページまたは在園のしおりをご確認ください。

☑クラス年齢0~5歳(0歳は利用申請時点で月齢20週以上)の保育認定児のうち、保育所・認定こども園等に入所している児童

※入所していない方の一時的な利用はできません。

☑日曜日及び祝休日(年末年始を除く)

の午前7時~午後6時

場たけとんぼ保育園(森野)

定10人(選考)

☑利用希望日の前月1日までに、在籍している園へ利用登録及び利用申請書を提出。

※4月に新規入園予定の方は、保育・幼稚園課へお問い合わせ下さい。

☑保育・幼稚園課☎724・2137

ご覧いただけます

町田市公共下水道事業計画変更(案)関係図書

主な変更内容は、雨水の施設計画の見直しと成瀬クリーンセンターでの処理方法の一部変更です。

縦覧期間中、住民及び利害関係人は意見書を提出することができます。

☑縦覧期間 2月15日(木)までの午前8時30分~午後5時(土・日曜日、祝休日を除く)

場下水道総務課(市庁舎8階)、水再生センター(成瀬・鶴見川クリーンセンター)

☑意見書の提出 2月15日まで(必着)に直接または郵送で下水道総務課(〒194-8520、森野2-2-22)へ。

☑下水道総務課☎724・4290

「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰を受賞しました

☑スポーツ振興課☎724・4036、町田市障がい児スポーツ教室について =障がい福祉課☎724・2147 FAX050・3101・1653

市川健一氏(元・町田の丘学園校長)が、障がい者の生涯学習支援活動の普及及び発展のために尽力し、顕著な成果を上げたとして、2017年12月7日に平成29年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。



市川氏は、1976年に障害児体操教室(現在の町田市障がい児スポーツ教室)の創設に携わり、現在も行政と連携して、地域の理解と協力を得ながら、指導員、ボランティア、親の会の協力のもと、教室を実施しています。

1月10日には受賞報告のため、市庁舎を訪れ、「「生涯」学習支援活動ということで、これからは多くの方にご協力いただきながら頑張っていきたい」と受賞の喜びを話されました。

※町田市障がい児スポーツ教室は、市内在住で障がいのある18歳以下の方等を対象に開催している教室です。

傍聴できます

第4回スポーツ施設整備構想懇談会

☑スポーツ振興課☎724・4036

市では、「観る」スポーツのあり方や、さまざまなスポーツ施設の将来像について、広く意見を聞き、「町田市スポーツ施設整備構想」としてまとめるために懇談会を開催しています。

この懇談会は、大学教授、スポーツ関係者、地域団体関係者、経済・観光関係者などにより構成され、活発な意見交換が行われています。

今回は、これまでの議論を踏まえ、施設整備に関する意見を提言としてまとめます。なお、この提言は、2018年度に策定する「(仮称)町田市スポーツ推進計画19-28」の参考とします。

☑2月22日(木)午後6時30分~8時

場市庁舎

定20人(申し込み順)

☑2月16日までに電話でスポーツ振興課へ(受付時間=午前9時~午後5時、土・日曜日、祝休日を除く)。

【これまでの議論での主な意見】

○体育館

・「観る」スポーツ施設としては設備面で物足りない

・他自治体と比較して施設数が不足している

○プール

・市民の利用ニーズが高く、今後も市民利用施設として位置付けるのがよい

○陸上競技場

・現状ではにぎわいの場としての機能が不十分である

・施設を身近に感じ、市民が集まるシンボリックな施設になることも重要である

○野球場

・スポーツを通じて交流できる市民利用施設として位置付けるのがよい

みんなでつくる 未来の場5 ☑企画政策課☎724・2103

これからの公共施設に求められるものとは何か考えてみましょう

市では、公共施設の再編を通して公共施設が抱える課題を解決していくと同時に、公共施設・公共空間の「より良いかたち」の実現を目指しています。

このことを踏まえ、2017年6月~7月に、これからの公共施設のあり方に関する市民アンケート(※)を実施しました。今回は、その結果の1つを紹介いたします。※無作為抽出した15歳以上の町田市民3000人を対象に郵送で実施。

○設問 公共施設の「より良いかたち」を作っていくにあたって、あなたが特に重要だと思う要素は何ですか?(選択式・複数回答可)

	回答結果(上位)	回答割合
1	気軽に立ち寄れる	45.2%
2	多様性・柔軟性がある	38.3%
3	多目的利用ができる	37.4%
4	身近である	36.1%
5	多世代が集える	32.5%

この結果から、限られた目的で一部の人が利用するのではなく、みんながいろいろな目的で気軽に使える空間を求める傾向がみられます。

公共施設・公共空間を、これまで以上にみんなが使いやすく、気軽に立ち寄れる場にしていきましょう。

公共施設の未来を一緒に考えていきましょう。

☑ご意見は企画政策課(mcity3270@city.machida.tokyo.jp)で受け付けています。

公開している会議 傍聴のご案内

会議名	日時	会場	定員	申し込み
上下山田地区資源ごみ処理施設連絡会	2月9日(金)午後6時30分から	忠生市民センターホール	5人程度(先着順)	直接会場へ☑環境型施設整備課☎724・4384
町田市景観審議会	2月14日(水)午後1時30分~3時30分	市庁舎2階会議室2-3	5人(申し込み順)	事前に電話で地区街づくり課(☎724・4267)へ
町田市自殺対策推進協議会	2月15日(木)午前10時~11時30分	市庁舎2階会議室2-1	5人(先着順)	直接会場へ☑健康推進課☎724・4236
町田市都市計画審議会	2月16日(金)午前10時から	市庁舎3階第1委員会室(予定)	10人(申し込み順)	事前に電話で都市政策課(☎724・4247)へ
熱回収施設等の周辺施設整備のあり方検討委員会	2月16日(金)午後6時~8時	市庁舎10階会議室10-3	10人(申し込み順)	2月15日午後5時までに環境政策課(☎724・4386)へ
町田市高齢社会総合計画審議会	2月16日(金)午後6時30分~8時	市庁舎3階会議室3-1	10人(申し込み順)	事前に電話でいきいき総務課(☎724・2916)へ
相原地区資源ごみ処理施設連絡会	2月17日(土)午後6時から	相原中央公園管理棟内多目的室	5人程度(先着順)	直接会場へ☑環境型施設整備課☎724・4384
町田市情報公開・個人情報保護運営審議会	2月19日(月)午前10時~正午	市庁舎2階会議室2-1	3人(申し込み順)	事前に電話で市政情報課(☎724・8407)へ